

文化女大家政 ○高野富士子  
伊藤 道子  
高橋 睦子

1. 最近家庭洗たくでは合成洗剤が普及しているのに、洗たく堅牢度の試験用洗剤として、マルセル石けんを用いる評価の妥当性に疑問がもたれたので、市販染色布 77 種につき、洗剤の種類をかえて JIS 法により洗たく堅牢度試験を行いその判定結果を検討した。

2. 試験布：材質は夏物なので綿が多く、その他キュプラ、アセテート、ウール、混紡など。試験法：JISL-1045 法による。温度は最初  $50 \pm 2^\circ\text{C}$  とし、特に色の出たもののみ  $30 \pm 2^\circ\text{C}$  で行う。洗剤、溶剤の種類：マルセル石けん、LAS 洗剤 3 種類、溶剤(ミネラルターペン、パークレン)。判定結果：変退色、汚染は JIS 法による。

3. 洗剤、溶剤別 1)  $50^\circ\text{C}$  で 4 級以下のものの件数を次表に示す。

洗剤 判定	マルセル	LAS(A)	(B)	(C)	ミネラル ターペン	パークレン
変退色	10 件	10	10	9	11	12
汚 染	7	9	11	10	14	26

2) 変退色では有機溶剤によるものの件数が多く、2 級、1 級のものもあった。

3) 汚染でも有機溶剤による汚染度が著しかった。但しウールは洗剤で 2 級でも、溶剤では 5 級のものもあった。

4) マルセル石けんよりも、LAS 洗剤の方が汚染度の高いものが多かった。

5) 汚染は温度に関係なく、 $30^\circ\text{C}$ 、 $50^\circ\text{C}$  と同じ傾向がみられた。変退色は  $30^\circ\text{C}$  ではほとんどない。